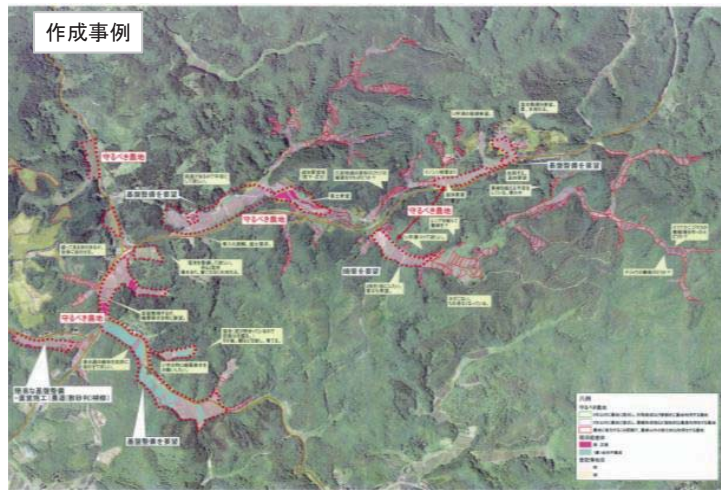
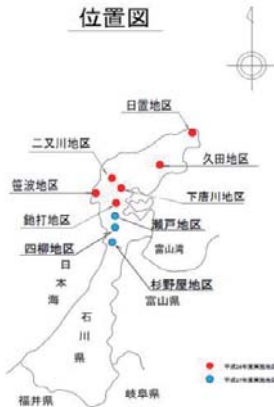


1. 事業目標達成状況の評価年月日	平成28年6月30日				
2. 地区名	の と さとやまさとうみ いしかわ 能登の里山里海(石川県)				
3. 評価者	石川県				
4. 事業目標達成状況の評価	(上段):計画 下段:実績				
事業目標	指標	事業前	平成26年度	平成27年度	備考
	土地利用構想の作成 集落数(集落)	0	(5) 6	(5) 9	累積
	デジタルアーカイブ紹介 コーナー設置数(箇所)	0	(0) 0	(5) 5	
	環境保全資料を用い た勉強会開催数(回)	0	(0) 0	(5) 5	
本交付金の評価	平成26年度	農村資源保全推進対策	里山景観を保全、継承するため、地域が農地をどのように保全、管理するのかといった土地利用構想を地域住民の参加により策定した。 当初計画では能登全域で5地区の予定であったが、各市町1地区ずつモデル地区を選定し9地区へと目標を上回る計画とし、平成26年度は志賀町以北の6地区で土地利用構想を策定した。 また「能登の里山里海」の学習や観光などへ活用できるよう構成資産を記録・保存するデジタルアーカイブを構築した。		
	平成27年度	農村資源保全推進対策	平成26年度に引き続き土地利用構想を中能登町以南の3地区で土地利用構想を策定した。 構築したデジタルアーカイブは既存資料を整理収集したものであったが、映像資料が不足していたことから、主な構成資産について映像資料の充実を図った。		
事業全体の評価	全体総評	<p>いずれの事業目標も達成している。</p> <p>特に土地利用構想策定は、担い手の不足、狭小で不整形な基盤、不都合な用排水などにより、耕作放棄地が増大している能登において、集落が地域内で十分な話し合いを持って地域のあり方を決める大きな役割を果たす事業であり、当初目標5地区を上回る9地区で策定に至った。現在、この事業はほ場整備の意向を持つ集落に対し、その前段階として集落の農地の利用方法を定める事業として、県単事業で実施している。</p> <p>デジタルアーカイブは、243件登録し、平成28年6月末時点で約3万回閲覧(約80回/日)されている。これは「能登の里山里海」ポータルサイトとほぼ同様の高いペースで閲覧されており、効果的な情報発信がなされていると考えられる。</p>			

活動状況写真

○里山景観保全に向けた土地利用構想の策定

美しい農村再生支援事業 土地利用構想策定地区位置図



○「能登の里山里海」デジタルアーカイブの制作

